

大谷大学博物館 2024年度秋季企画展

2024年9月3日（火）～9月23日（月・祝）開催

「大谷大学博物館の逸品 稀覯仏典二品」

【内覧会のご案内】2024年8月30日（金）10:30～11:30

大谷大学(所在：京都市北区 学長：一楽 真)は、2024年9月3日（火）～9月23日（月・祝）の期間、大谷大学博物館にて2024年度秋季企画展「大谷大学博物館の逸品 稀覯仏典（きこうぶってん）二品（にひん）」を開催いたします。そのことに先立ちまして、8月30日（金）10:30からメディアの皆さまを対象とした内覧会を実施いたしますので、ご案内申し上げます。

今回、稀覯仏典二品として紹介するのは『賢聖義略問答（げんじょうぎりやくもんどう）』巻第一（かんだいいち）と『大乘理趣六波羅蜜經釈文（だいじょうりしゅろつぱらみつきょうしゃくもん）』です。前者は寛弘5年(1008)書写の同巻（東洋文庫蔵）がすでに重文指定されており、本品はそれより古い現存最古写本になります。後者は首尾欠ながら本品しか現存していない天下の孤本でその史的価値はきわめて高いといえます。

また、秋季企画展と同時開催の実習生展は、学芸員の資格取得をめざす博物館学課程の受講生が最終成果として企画からすべてをおこなう展覧会です。A・B・Cの3班がそれぞれ企画したもので、**A班「京都（みやこ）の怪異」**は千年の都・京都にまつわる不思議な出来事の数々を、**B班「空海の足跡」**は生誕1250年をむかえた空海の生涯やその教えや信仰などを、**C班「戒律の伝来」**は仏教の戒律に注目して、日本伝来の諸相をそれぞれ紹介しています。

今回の内覧会では、各班の実習生が各展示についての説明を行い、質問等にもお応えいたします。

※お手数をおかけしますが、内覧会出席をご希望いただける場合、下記のメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。【期日：8/28（水）】



▲『大乘理趣六波羅蜜經釈文』（大谷大学博物館）



▲『賢聖義略問答』巻第一（大谷大学博物館蔵）

大谷大学博物館 2024年度秋季企画展 ホームページ
<https://www.otani.ac.jp/events/shuukikikakuten.html>



■見どころ紹介！

「大谷大学博物館の逸品」では、あまり展示されることはないものの、貴重で重要文化財の指定候補ともいえる作品を紹介します。実習生展は、学芸員をめざして学んできた博物館学課程の受講生が、その最終成果として実施するもので、その努力と工夫の一端をご覧ください。

＜報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先＞

大谷大学入学センター(広報)後藤・野路・三池 TEL：075-411-8114／FAX：075-411-8160
E-mail：nyushi-c@sec.otani.ac.jp【ご出席連絡先】

＜一般の皆さまからのお問合せ先＞

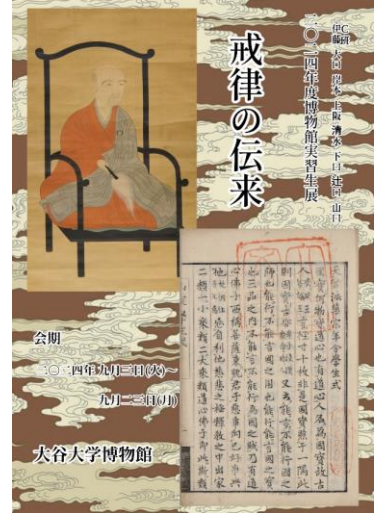
大谷大学博物館 TEL：075-411-8483／https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/



A班



B班

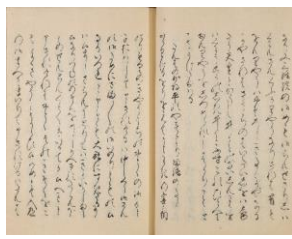


C班

主な展示品



A-05 『扶桑略記』



A-09 『平家物語』



B-11 神護寺経



B-12 「高野山細見絵図」



C-05 「三国祖師影」



C-01 道宣像

班	No.	作品名	時代	員数	材質・技法	所蔵
A	5	扶桑略記	文政13年 (1830)	1冊 (15のうち)	紙本木版	大谷大学図書館
	9	平家物語	元禄4年 (1691)	1冊 (12冊のうち)	紙本墨書	大谷大学図書館
	12	源平盛衰記	江戸時代 (18世紀)	1冊 (25冊のうち)	紙本木版	大谷大学図書館
	15	謡曲拾葉抄	明和9年 (1772)	1巻	紙本木版	大谷大学図書館
B	2	三教指帰	鎌倉時代 (14世紀)	1帖	紙本墨書	大谷大学博物館
	4	上新請来経等目録表	西安4年=1302	1巻	紙本木版	大谷大学博物館
	11	灯指因縁経 (神護寺経)	平安時代 (12世紀)	1巻	紺紙金泥	大谷大学博物館
	12	高野山細見絵図	明治時代 (19世紀)	1鋪	紙本木版彩色刷	大谷大学図書館
C	1	道宣像	江戸時代 (18-19世紀)	1幅	紙本著色	大谷大学博物館
	4	教誡新学比丘行護律儀	江戸時代 (19世紀)	1冊	紙本木版	大谷大学図書館
	5	三国祖師影	久安6年 (1150)	1冊	紙本木版	大谷大学博物館
	9	唐招提寺古図	江戸時代 (19世紀)	1鋪	紙本著色	大谷大学図書館

「大谷大学博物館 2024年度秋季企画展」開催概要

- 展示会名：大谷大学博物館の逸品 稀覯仏典（きこうぶってん）二品（にひん）
- 会 期：2024年9月3日（火）～9月23日（月・祝）
- 開館時間：午前10時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）
- 休 館 日：日曜日・月曜日 ※ただし、9/8（日）、9/22（日）、9/23（月）は開館
- 観 覧 料：無料
- 場 所：大谷大学博物館（京都市北区小山上総町 大谷大学 響流館1F）
※京都市営地下鉄烏丸線国際会館行「北大路」駅下車、6番出口すぐ
※市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路下車」
- 主催：大谷大学博物館
- 後援：エフエム京都
- 大谷大学博物館 2024年度秋季企画展：
<https://www.otani.ac.jp/events/shuukikikakuten.html>  



※内覧会出席ご希望の場合、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。【期日：8/28（水）】

大谷大学博物館 概要

本学博物館は、真宗学・仏教学・歴史学・文学など世界的に貴重な典籍、考古遺物、民俗資料など約12,000点を所蔵。年4回の企画展と年1回の特別展を地域に広く公開し、文化財を間近でみることができる博物館です。

本学図書館が収蔵していた貴重資料および考古遺物や民俗資料などの文物を含む多様な資料の適切な保管と調査研究、1987年に開設された博物館学課程の充実化、生涯学習など社会的要請への対応などを目的に設置構想を策定し、2003年に開館しました。昨年には、開館20周年を迎えました。



大谷大学 概要

大谷大学は、1665（寛文5）年の江戸時代、京都・東六条に創設された東本願寺の学寮をその前身としています。その後、いくたびかの変遷を経て、1901（明治34）年、近代的な大学として東京・巣鴨の地に開学。1913（大正2）年、現在の地に移転開設しました。

親鸞の仏教精神に基づき、“人材”ではなく“人物”の育成を目標とする学び「人間学」を教育・研究の根幹とし、広く一般社会へ開かれた大学として確かな歩みを続けています。2021（令和3）年には、近代化120周年を迎えました。



<報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先>

大谷大学 入学センター（広報）後藤・野路・三池 TEL：075-411-8114／FAX：075-411-8160

E-mail：nyushi-c@sec.otani.ac.jp【ご出席連絡先】

<一般の皆さまからのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL：075-411-8483／https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/